



2020年3月期 通期連結決算

Financial Results for Year Ended March 31, 2020

2020年5月28日

株式会社 JALUX

東証1部：2729 (TSE #2729)

【INDEX】

コロナ危機によるJALUXグループへの影響 The impact of COVID-19 on JALUX group	... 3
連結決算概要 Consolidated Financial Summary	... 5
セグメントの概況 Performance per Operational Segment	... 10
2021年3月期連結業績見通し Forecasts for the Fiscal Year Ending March 31, 2021	... 17
中期経営計画『Next Stage 2020』の振り返り Review of medium-term management plan	... 22
JALUXグループの持続的成長 Sustainable growth of the JALUX group	... 29

コロナ危機によるJALUXグループへの影響

The impact of COVID-19 on JALUX group

1

コロナ危機による影響

	2020年1月		2020年2月		2020年3月		2020年4月	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
インバウンド (千人)	2,661	98.9%	1,085	41.7%	193	7.0%	2	0.1%
成田空港利用客数 (千人)	3,613	106.9%	2,710	84.6%	1,209	31.8%	未発表	
羽田空港利用客数 (千人)	6,567	97.6%	5,677	87.5%	2,748	35.2%	未発表	



+その他、免税店向け卸販売はもとより、百貨店、ホテル、レストラン、飲食店向け等、多岐にわたる事業に影響

見通し不透明、長期化リスク

連結決算概要

Consolidated Financial Summary

2

連結P/L (概要)

Consolidated P/L (Summary)

連結P/L
 Consolidated P/L (Summary)

(単位 : 百万円 Million yen)

		2019年3月期 March. 2019	2020年3月期 March. 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
売上高	Net sales	185,726	144,688	△41,038	77.9%
売上総利益	Gross profit	26,590	25,840	△749	97.2%
販売管理費	SG&A expenses	21,961	21,870	△91	99.6%
営業利益	Operating profit	4,628	3,969	△658	85.8%
営業外損益	Non-op. profit/expenses	466	768	301	164.5%
経常利益	Ordinary profit	5,094	4,738	△356	93.0%
特別損益	Extraordinary profit/losses	△98	△ 182	△84	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	Profit attributable to owners of parent	2,962	3,081	+118	104.0%
売上総利益率(%)	Gross profit to net sales ratio	14.3	17.9	+3.5	
経常利益率(%)	Ordinary profit to net sales ratio	2.7	3.3	+0.5	

- 売上高：航空機エンジン部品販売減少、空港店舗事業・免税事業など減収などにより前期より減少
- 販売管理費：人件費など増加の一方、歩合家賃・商品運送費など販売費減少などにより前期より減少
- 営業外損益：持分法投資利益の増加などにより前期より増加
- 親会社株主に帰属する
当期純利益：持分法投資利益の増加、税金費用減少、非支配株主に帰属する当期純利益減少などにより前期より増加

3

連結B/S (概要)

Consolidated B/S (Summary)

連結B/S
Consolidated B/S (Summary)

(単位 : 百万円 Million yen)

		2019年3月期末 March.31 2019	2020年3月期末 March.31 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
流動資産	Current assets	46,398	48,765	+2,366	105.1%
現金及び預金	Cash and deposits	6,050	6,175	+124	102.1%
固定資産	Non-current assets	10,488	12,079	+1,591	115.2%
有形固定資産	Property plant and equipment	4,508	5,266	+758	116.8%
無形固定資産	Intangible assets	490	673	+182	137.3%
投資その他の資産	Investments and other assets	5,489	6,138	+649	111.8%
資産合計	Total assets	56,887	60,844	+3,957	107.0%
流動負債	Current liabilities	29,328	31,704	+2,376	108.1%
固定負債	Non-current liabilities	1,507	1,093	△413	72.6%
純資産	Net assets	26,051	28,046	+1,995	107.7%
負債純資産合計	Total liabilities and net assets	56,887	60,844	+3,957	107.0%

- ・ 流動資産 : (+)航空機エンジン部品販売に伴う売掛金並びにたな卸資産の増加
- ・ 固定資産 : (+)賃貸用不動産取得、空港店舗改装、消費税増税に伴うソフトウェア改修、事業投資による投資有価証券の増加
- ・ 流動負債 : (-)航空機エンジン部品輸入に係る未払費用の減少
(+)航空機エンジン部品仕入に伴う買掛金の増加、コマーシャルペーパーの発行
- ・ 固定負債 : (-)長期借入金返済による減少
- ・ 純資産 : (-)配当金の支払い (+)親会社に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加

4 財務状態 Financial Position

財務状態 Financial Position

(単位 : 百万円 Million yen)

		2019年3月期末 March.31 2019	2020年3月期末 March.31 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
総資産	Total assets	56,887	60,844	+3,957	107.0%
自己資本	Shareholders' equity	24,128	26,337	+2,209	109.2%
自己資本比率(%)	Shareholders' equity ratio (%)	42.4	43.3	+0.9	
有利子負債残高	Interest bearing debt	11,750	14,329	+2,579	122.0%
D/Eレシオ(倍)	Debt/Equity ratio (times)	0.48	0.54	+0.06	

- 総資産が前期末比3,957百万円増加し、自己資本が2,209百万円増加した結果、自己資本比率は0.9ポイント増加
- CP発行等により有利子負債が前期末比2,579百万円増加し、D/Eレシオは0.06ポイント増加

5 連結キャッシュ・フロー（概要）

Consolidated Cash flow (summary)

連結キャッシュ・フロー Consolidated Cash Flow

（単位：百万円 Million yen）

		2019年3月期 March 2019	2020年3月期 March 2020	前期差 YoY
営業キャッシュ・フロー	Net Cash from Operating Activities	△4,463	1,488	+5,951
投資キャッシュ・フロー	Net Cash from Investing Activities	△706	△ 2,744	△2,038
財務キャッシュ・フロー	Net Cash from financing Activities	5,211	1,418	△3,792
フリーキャッシュフロー	Free Cash Flow	△5,169	△ 1,255	3,913

- ・ 営業キャッシュ・フロー：航空機エンジン部品輸入に係る未払費用支払い、法人税支払い、税金等調整前当期純利益の計上
- ・ 投資キャッシュ・フロー：賃貸用不動産取得による支出、空港店舗改装に伴う固定資産取得による支出
- ・ 財務キャッシュ・フロー：配当金の支払い、長期借入金の返済、運転資金の借入、コマーシャルペーパーの発行

セグメントの概況

Performance per Operational Segment

6 セグメント別売上高 Net Sales by Segment

セグメント別売上高 Net Sales by Segment

(単位：百万円 Million yen)

※各セグメントごとの内訳は内部取引消去前金額 Sales including inter-segment transaction

		2019年3月期 March 2019	2020年3月期 March 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
航空・空港	Aviation & Airport	84,444	48,819	△35,625	57.8%
ライフサービス	Life service	13,654	13,095	△559	95.9%
リテール	Retail	63,271	57,625	△5,646	91.1%
フーズ・ビバレッジ	Food & Beverage	25,670	26,574	+903	103.5%
全社及び消去	Eliminations	△1,315	△1,426		
合計（連結）	Total	185,726	144,688	△41,038	77.9%

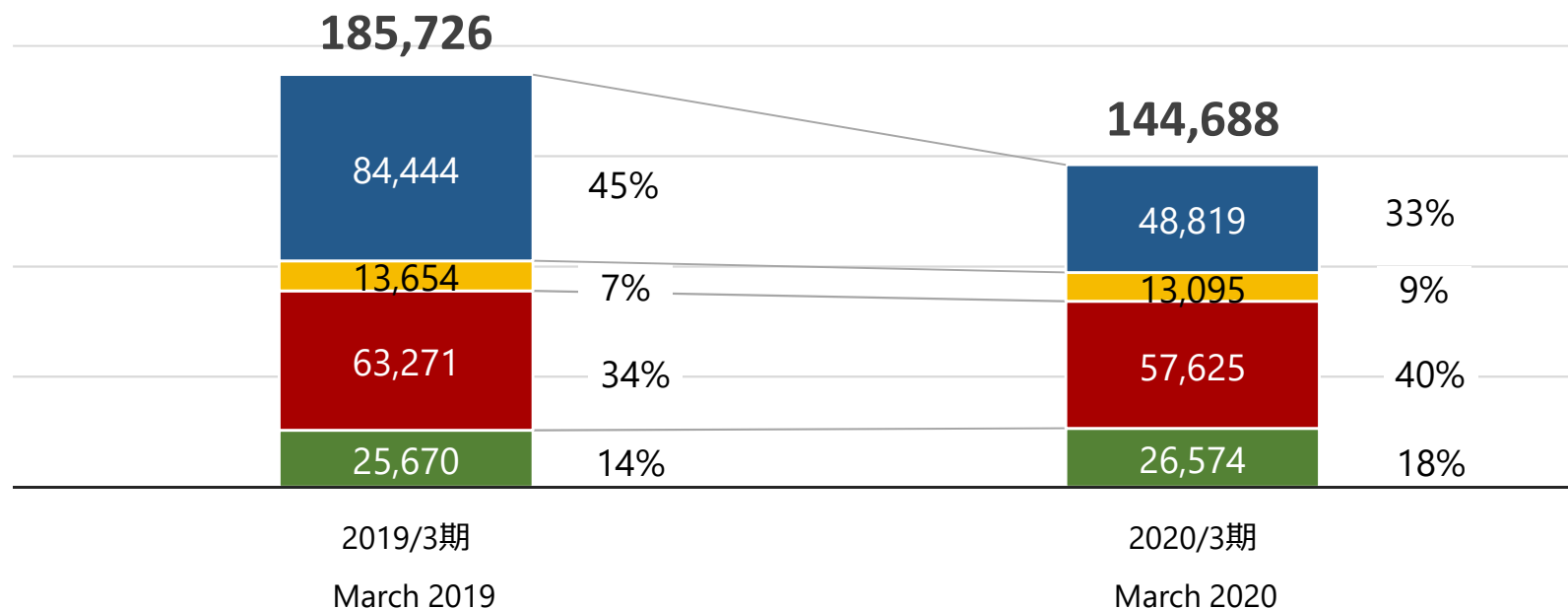
7

セグメント売上高構成比 Sales composition ratio of Segment

セグメント売上高構成比
Sales composition ratio of Segment

(単位：百万円 Million yen)

※各セグメントごとの内訳は内部取引消去前金額 Sales including inter-segment transaction






■ 航空・空港 Aviation & Airport
 ■ ライフサービス Life service
 ■ リテール Retail
 ■ フーズ・ビバレッジ Food & Beverage

- 航空・空港 : 売上高は減少、セグメント別売上高構成比は12ポイント減少
- ライフサービス : 売上高は減少、セグメント別売上高構成比は2ポイント増加
- リテール : 売上高は減少、セグメント別売上高構成比は6ポイント増加
- フーズ・ビバレッジ : 売上高は増加、セグメント別売上高構成比は4ポイント増加

8 航空・空港 Aviation & Airport

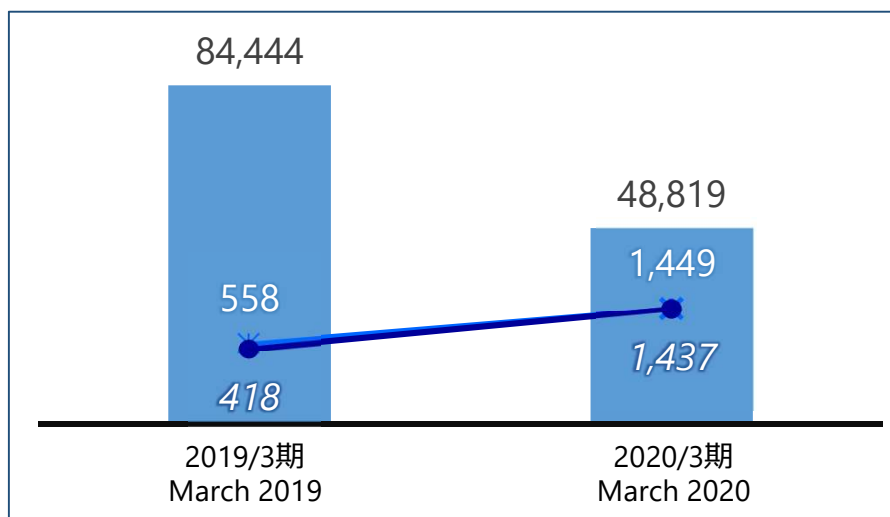
航空・空港 Aviation & Airport

(単位 : 百万円 Million yen)

	2019年3月期 March 2019	2020年3月期 March 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
売上高 ※1  Net sales	84,444	48,819	△35,625	57.8%
営業利益 ※2  Operating profit	558	1,449	+891	259.6%
経常利益  Ordinary profit	418	1,437	+1,018	343.0%

※1 内部取引消去前金額 Net sales and Operating profit including inter-segment transaction

※2 共通経費配賦前営業利益 Operating profit before allocating common expense



Remark




- ・ 航空機エンジン部品販売の一部主要取引先への販売減少
- ・ シンガポール 航空機エンジンリース事業堅調
- ・ 海外空港運営事業における持分法による投資利益増加

*前年同期、販売用中古航空機の評価減あり

9 ライフサービス Life Service

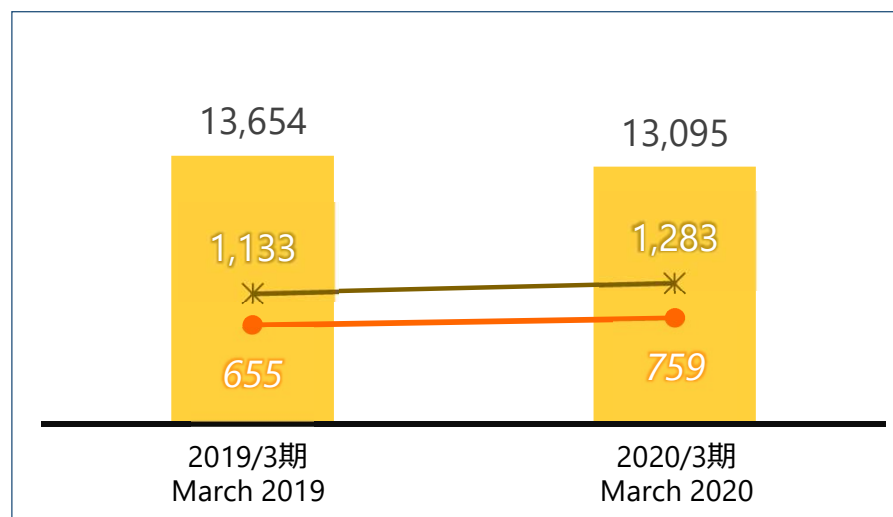
ライフサービス Life Service

(単位 : 百万円 Million yen)

	2019年3月期 March 2019	2020年3月期 March 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
売上高 ※1  Net sales	13,654	13,095	△559	95.9%
営業利益 ※2  Operating profit	1,133	1,283	+149	113.2%
経常利益  Ordinary profit	655	759	+104	115.9%

※1 内部取引消去前金額 Net sales and Operating profit including inter-segment transaction

※2 共通経費配賦前営業利益 Operating profit before allocating common expense



Remark

- ・ 不動産：国内不動産開発は市場環境に鑑み案件厳選
- ・ 仲介・施設管理・工事の増加
- ・ 保険：JALカード会員向け・法人向け保険販売の拡大
- ・ 機械・資材：用紙・包材、概ね前期並み
- ・ 特殊車両の販売増加
- ・ 米国での道路補修材、販売戦略奏功により増加

10 リテール Retail

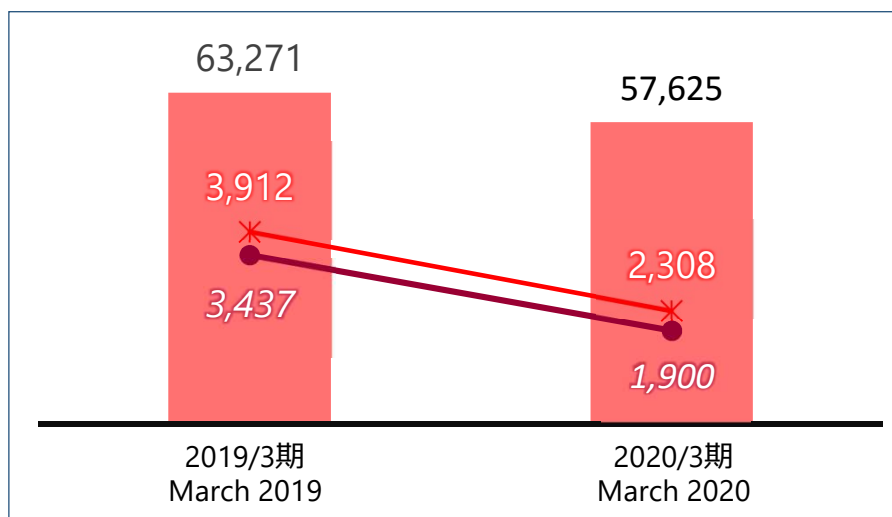
リテール Retail

(単位：百万円 Million yen)

	2019年3月期 March 2019	2020年3月期 March 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
売上高 ※1 ■ Net sales	63,271	57,625	△5,646	91.1%
営業利益 ※2 *—* Operating profit	3,912	2,308	△1,604	59.0%
経常利益 ●—● Ordinary profit	3,437	1,900	△1,536	55.3%

※1 内部取引消去前金額 Net sales and Operating profit including inter-segment transaction

※2 共通経費配賦前営業利益 Operating profit before allocating common expense






Remark

- ・ 空港店舗：前期中の一部店舗閉鎖による販売減少
「BLUE SKY」 4Q航空・空港利用客減少
- ・ 免税店舗：一部店舗改装、訪日外国人の消費動向変化
「JAL DUTYFREE」 4Q航空・空港利用客減少
- ・ 免税卸販売：取引先拡大により増加も4Q需要減
- ・ 通信販売：インターネット通信販売増加
- ・ 贈答用食品販売：4Q百貨店利用客減少

11 フーズ・ビバレッジ Food & Beverage

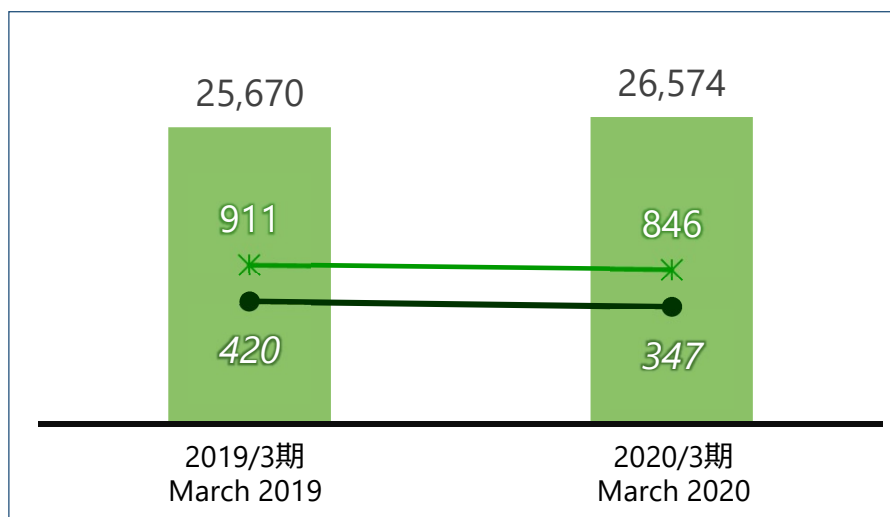
フーズ・ビバレッジ Food & Beverage

(単位 : 百万円 Million yen)

	2019年3月期 March 2019	2020年3月期 March 2020	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
売上高 ※1  Net sales	25,670	26,574	+903	103.5%
営業利益 ※2  Operating profit	911	846	△64	92.9%
経常利益  Ordinary profit	420	347	△72	82.7%

※1 内部取引消去前金額 Net sales and Operating profit including inter-segment transaction

※2 共通経費配賦前営業利益 Operating profit before allocating common expense



Remark

- ・ 水産：寿司種用生食用加工品の卸販売増加
トンロー日本市場向け鮮魚輸出・販売増加
- ・ 農産：パプリカ・ミニトマト増加、オクラ減少
4Q輸送費高騰
- ・ ワイン：シャンパーニュ・チリ産ワイン卸販売増加
販売促進・在庫保管の費用増加
- ・ 加工食品：オリジナル菓子類の卸販売増加
日本ブランド菓子類の輸出・販売増加
- ・ 食料品製造：4Q交通系リテール向け弁当類需要減

2021年3月期 連結業績見通し

Forecasts for the Fiscal Year Ending March 31, 2021

12 2021年3月期の取組み方針

『守り重視』の経営に軸足

- ◆ コスト構造の改革、債権管理の徹底、適切な投資機会の創出による、フリーキャッシュ・フローの確保、損失圧縮、資産毀損低減を図り、健全な財務基盤を維持する

収益構造のバランス化

- ◆ 店舗事業における抜本的変革の実行による収益力の向上、他既存事業領域の徹底検証による収益力強化、既存ビジネスの派生領域開拓並びに領域融合の推進による新たなビジネス領域の確立など、収益構造をバランス化し、当社グループならではの事業ポートフォリオの最適化を図る

企業ガバナンスのさらなる向上

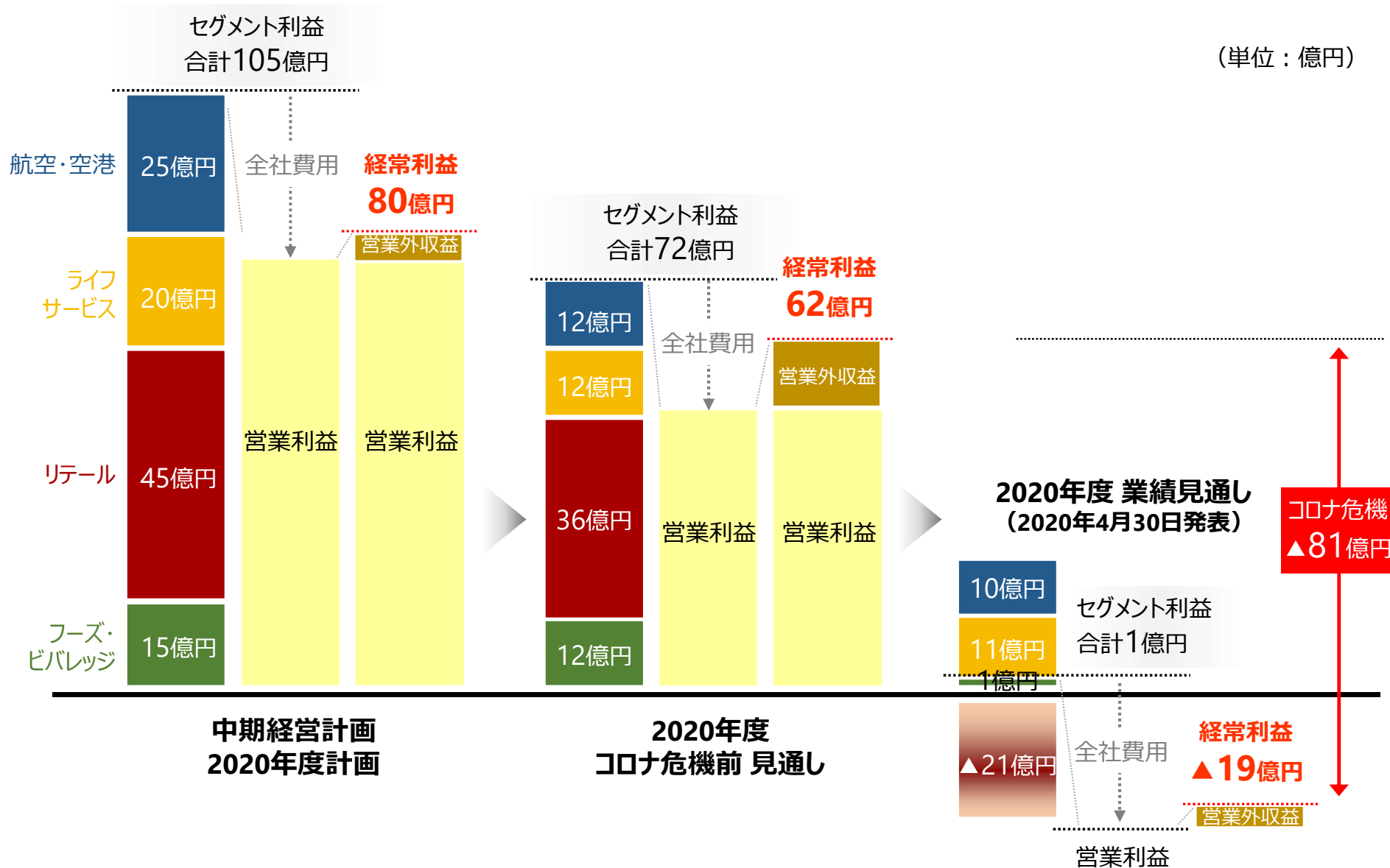
- ◆ 経営の健全性並びに企業価値の向上を図るため、経営の公正性と意思決定の透明性の確保に努めることにより企業ガバナンスを強化し、持続的成長を実現する蓋然性の高い成長戦略を打ち出す

13 2021年3月期 連結業績予想 Forecasts for the Fiscal Year Ending March 31, 2021

連結業績予想 Forecasts for the Fiscal Year Ending March 31, 2020		(公表数値 Published figures)		(単位 : 百万円 Million yen)	
		2020年3月期 March 2020	2021年3月期予想 March 2021 (E)	前期差 YoY	前期比 YoY (%)
売上高	Net sales	144,688	110,000	△34,688	76.0%
営業利益	Operating profit	3,969	△ 2,200	△6,169	—
経常利益	Ordinary profit	4,738	△ 1,900	△6,638	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	Profit attributable to owners of parent	3,081	△ 1,200	△4,281	—
親会社株主に帰属する 1株当たり当期純利益 [EPS] (円)	Earnings per share (yen)	243.69	△ 94.91	△338.60	—

14 業績見通しへのコロナ危機の影響 The impact of COVID-19 on forecasts

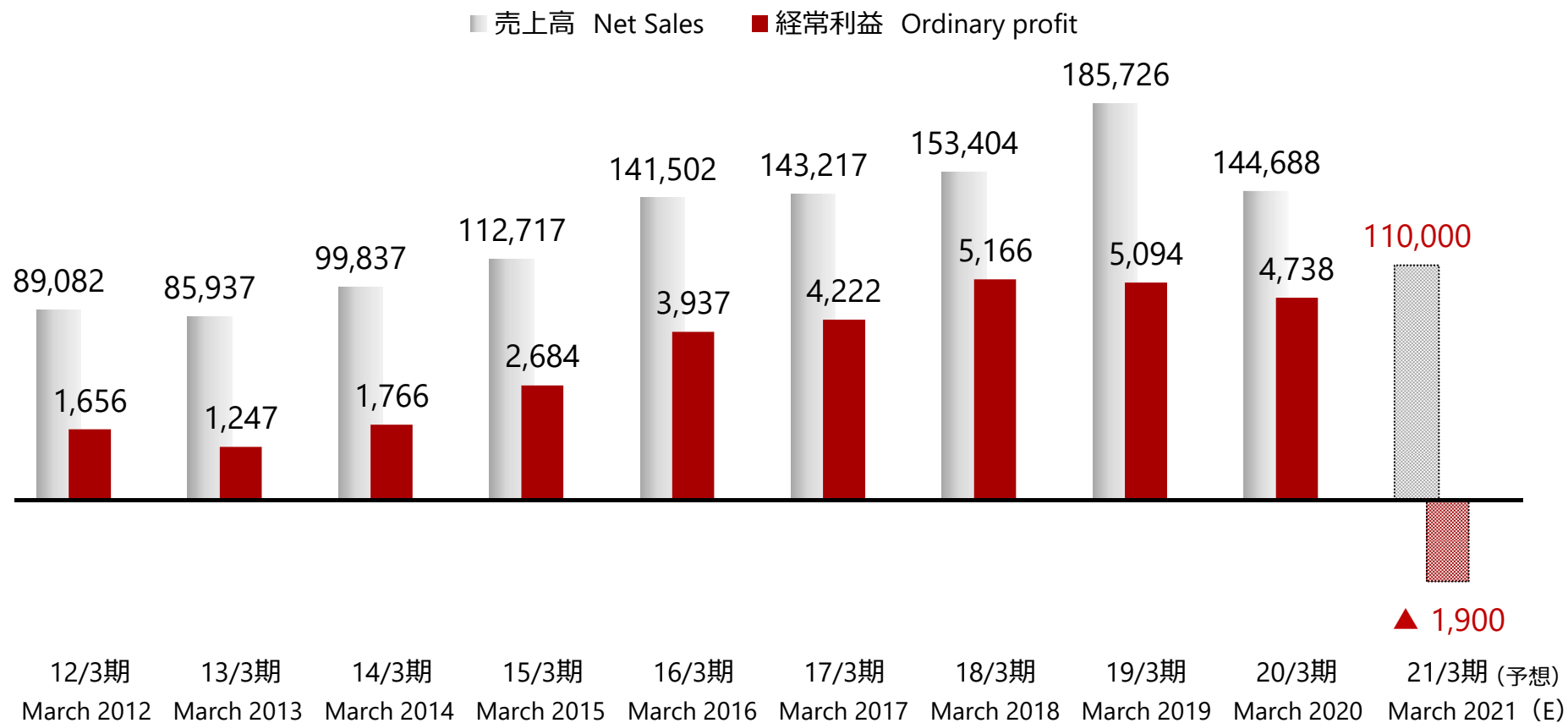
(単位：億円)



15 業績推移グラフ Performance trends

連結年度業績推移 Performance trends

(単位 : 百万円 Million yen)



前中期経営計画
Previous medium-term management plan

現中期経営計画
Current medium-term management plan

中期経営計画『Next Stage 2020』の振り返り

Progress of medium-term management plan

16 中期経営計画『Next Stage 2020』の全体像

【JALUXグループ長期ビジョン】
世界中のパートナーとともに、『JALUX-VALUE』を創造するビジネスリーダー

中期経営計画『Next Stage 2020』
持続的成長への新たな挑戦
～航空・空港分野に独自の強みを有するグローバルな企業集団へ～

【重点戦略】

- 1 収益基盤の拡大
- 2 新たなコア事業の創出と育成
- 3 事業ポートフォリオの最適化

【戦略推進の基礎】

人材の育成と
組織力の強化

資金調達力と
財務の健全性の確保

グループ経営
の深化



17 中期経営計画 重点戦略の総括

1 収益基盤の拡大

- 航空・空港ビジネス領域の事業規模拡大、非航空・空港ビジネス領域の事業収益伸長
- 航空・空港における一部主要取引先への航空機エンジン部品の販売減少
- 空港リテール事業における訪日外国人の消費動向変化の影響、先行投資による一部利益の圧迫

⇒ 中期経営計画達成を見通せる水準までには至らず

2 新たなコア事業の創出と育成

- 環境配慮型資機材の販売拡大
- シンガポールでの航空機エンジンリース事業始動
- 海外免税店事業、タイでのトンロー日本市場開業など

⇒ 新たな事業創出により一部収益貢献するも、コア事業への育成には課題

3 事業ポートフォリオの最適化

- ラオス農業事業子会社、タイ農産物加工・輸出事業子会社の株式売却
- 非航空・空港ビジネス領域の一層強化による収益構造のバランス化が課題

⇒ グループ経営資源適切配分に一定進捗も、事業ポートフォリオ最適化は未だ途上

18 2020年度における事業見通し：航空・空港セグメント

重点施策

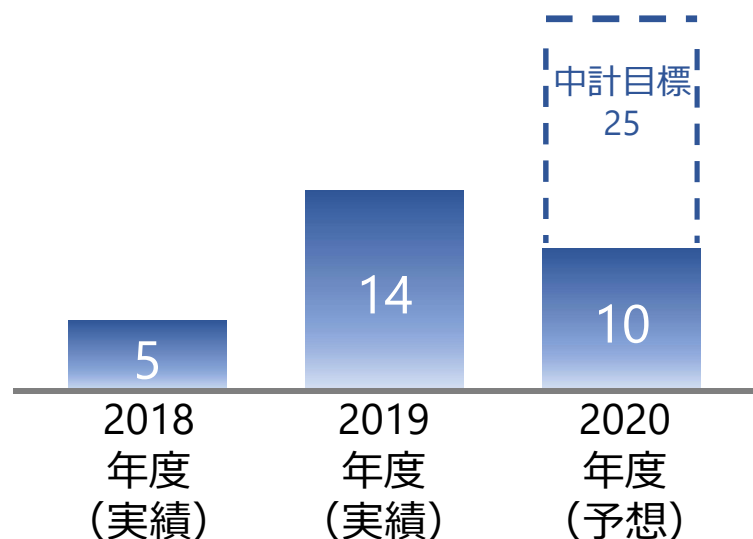
国内・海外拠点
の連携強化

航空関連アセット
ビジネスの展開

空港運営事業と
周辺ビジネスの拡大

営業利益 (億円)

(共通経費配賦前営業利益)



中期経営計画 2020年度営業利益目標25億円
⇒ 10億円の見通し

【コロナ危機による主な影響】

- 世界的規模での航空機の運航停止、新造機の生産計画見直し等により、航空機部品取引は減少の見通し
- 海外空港運営事業においても、国際線の需要回復は不透明な状況

19 2020年度における事業見通し：ライフサービスセグメント

重点施策

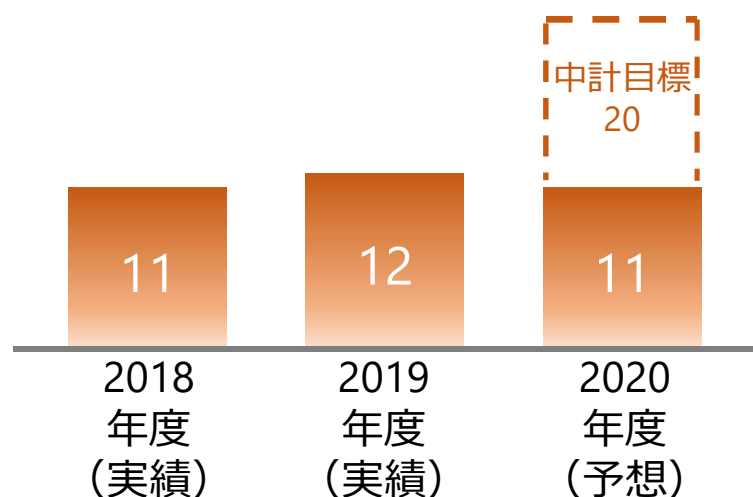
空港周辺不動産開発
シニア向け事業の推進

保険事業の
深耕と拡幅

環境配慮型資機材の
製造・販売強化

営業利益 (億円)

(共通経費配賦前営業利益)



中期経営計画 2020年度営業利益目標20億円
⇒ 11億円の見通し

【コロナ危機による主な影響】

- 保険事業は航空旅客需要の大幅減少に伴い、旅行保険等の需要は減少
- 道路補修材AQUA PATCHの米国での販売網構築、欧州横展開の遅れ

20 2020年度における事業見通し：リテールセグメント

重点施策

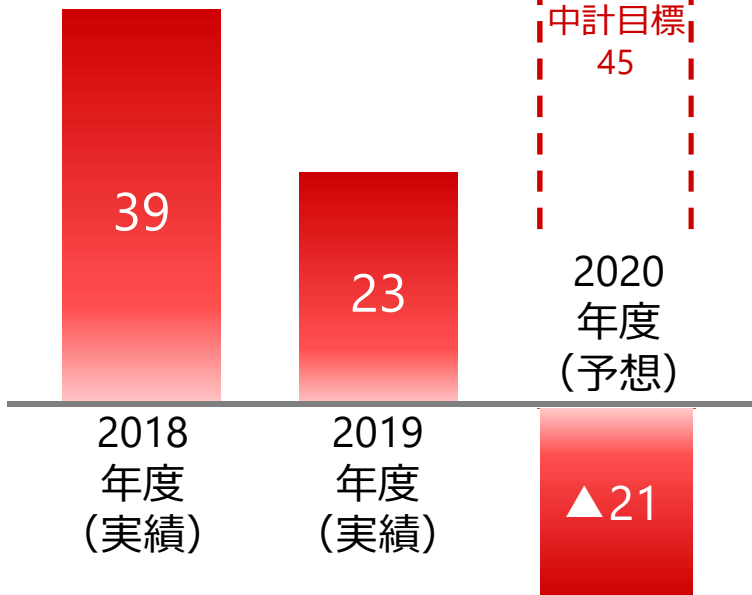
多様な顧客ニーズに応える
サービス・商品力の向上

海外リテール店舗の
展開

オリジナル商品の企画開発
とブランディング

営業利益 (億円)

(共通経費配賦前営業利益)



中期経営計画 2020年度営業利益目標45億円
⇒ ▲21億円の見通し

【コロナ危機による主な影響】

- インバウンドを中心とする航空旅客需要の大幅減少により、空港店舗、免税店等の国内空港リテール収益は大幅減少
- ベトナム、ラオスにおける海外免税事業においても収益は大幅減少

21 2020年度における事業見通し：フーズ・ビバレッジセグメント

重点施策

世界中のより良い商材の
国内輸入販売拡大

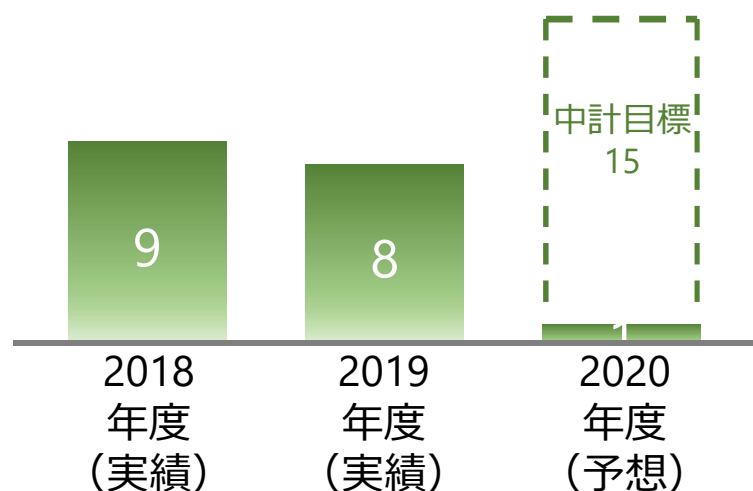
高付加価値商品の
海外輸出展開

加工・製造分野強化

営業利益

(億円)

(共通経費配賦前営業利益)



中期経営計画 2020年度営業利益目標15億円
⇒ 1億円の見通し

【コロナ危機による主な影響】

- 水産、農産、ワイン等は外食向け卸売事業で収益が減少
- 輸入品の輸送コストが上昇
- 航空旅客需要の大幅減少に伴い、空港向け弁当・総菜や機内食等の製造、卸売事業の収益は大きく減少

JALUXグループの持続的成長

Sustainable growth of the JALUX group

22

JALUXグループの持続的成長に向けた基本的な考え方

Corporate Philosophy

幸せづくりのパートナー

～人に社会に環境に、もっと豊かな輝きを～

Strategy basics

サステナビリティ

JALUXのESG経営の実践

E <環境>

地球で活動する私たちが
取り組むべき社会課題
の認識と対策の実践

S <社会>

地域社会に貢献し、
豊かな未来を実現
するための取組み

G <ガバナンス>

すべてのステークホルダー
の利益を最大化する
ための企業統治

Operation

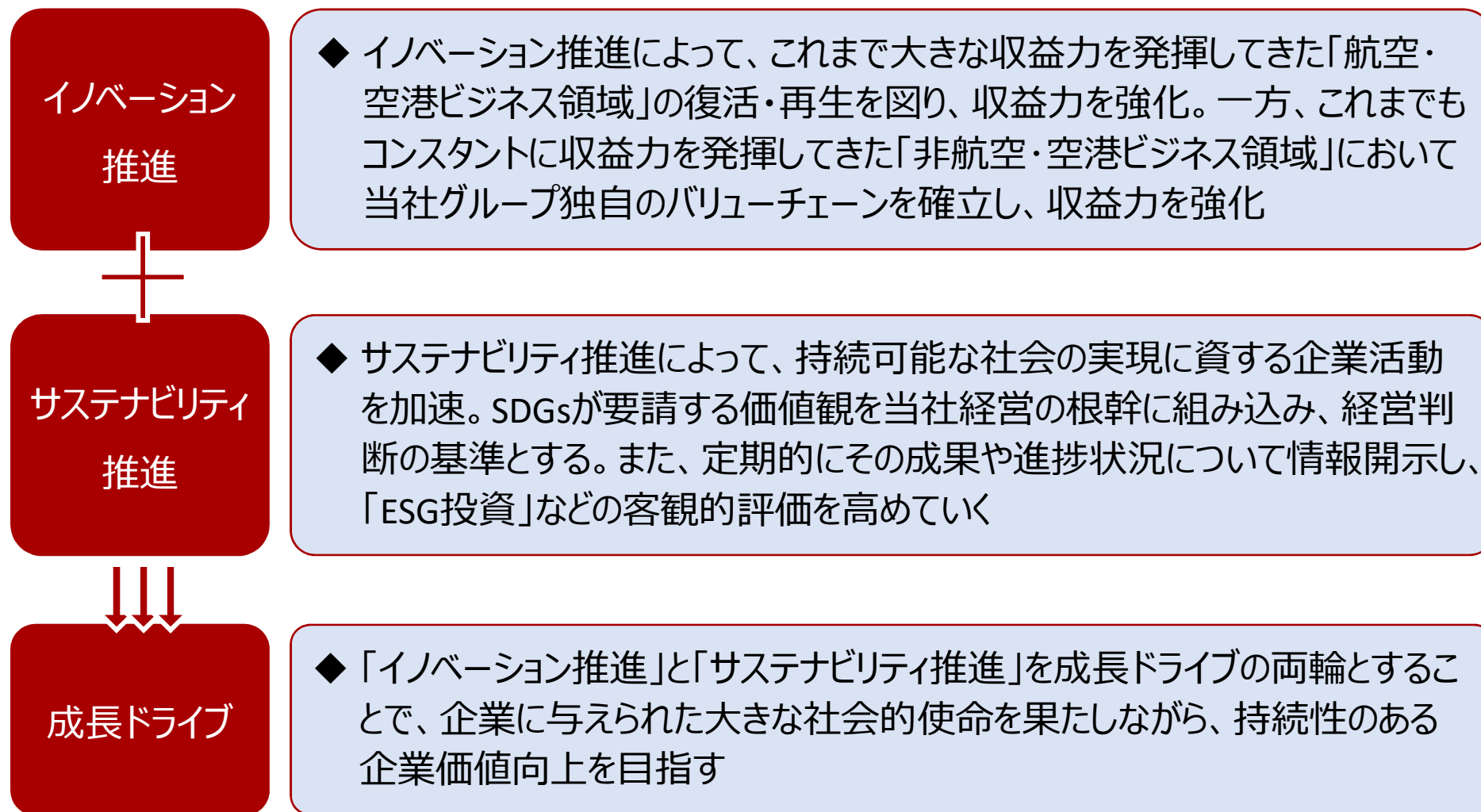
企業活動を通じた社会課題への取組み



23 JALUXグループの社会課題対策に向けた主な企業活動

社会課題への取組み	企業活動	SDGs
ASEAN地域 経済成長・雇用拡大	[ラオス] ビンチャン国際空港運営事業（NS約450名）、免税店運営事業（NS約30名）	
	[ミャンマー] マンダレー国際空港運営事業（NS約720名）	
	[ベトナム] 免税店運営事業（NS約100名）、水産加工事業	
	[タイ] サービス付アパートメント運営、トンロー日本生鮮市場運営、日本ブランド菓子類貿易	
地方創生 & 海外進出 第6次産業成長促進	国内地方の農産物・水産物のタイ（トンロー日本生鮮市場）への輸出	
	国内地方の農産物・水産物・乳製品の第6次産業化に向けたバリューチェーン構築	
	JAL新JAPANプロジェクトと連動した地方の特産品・名産品の販売	
	パプリカ・オクラ・アスパラガス・トマトなど世界の農産物の輸入・販売	
	サバ・サーモンなど世界の水産物の輸入・販売	
	米国・フランス・チリなど世界のワインの輸入・販売	
森林・陸上生態系保護 /水産資源保護	環境に配慮した道路補修資機材（AQUA PATCH/AQUA BLACK）の販売	
	グループ内でのペーパーレス推進による森林資源保護	
	法令順守の適正な水産サプライチェーン構築による乱獲防止	
	空港リテール事業におけるストローをプラスチックから紙へ	
	空港リテール事業におけるバイオマスプラスチック製ショッピングバッグの導入	
食品ロス問題	水産事業におけるNPO法人と連携した食品ロス削減	
	タイ・トンロー日本生鮮市場でのイートイン開設による食品ロス削減	
	国内冷凍食品ビジネス推進による食品ロス削減	
社会インフラ維持・発展	不動産開発事業による住環境インフラ拡充	
	橋梁点検車両の輸入販売による国内インフラ維持・整備	
	海外国際空港運営事業による航空インフラの拡充	
高齢化社会	デイケア施設、サービス付高齢者向け住宅の運営	
働き方改革	フレックス、テレワーク等の導入	
	有給休暇・育児休暇取得の積極取得推進	
	健康経営宣言	

24 JALUXグループの持続的成長に向けた戦略概要



免責事項／お問い合わせ先

本資料掲載の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その内容を確認するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ
株式会社 JALUX 経営企画部 広報IR課 TEL.03-6367-8822（直通）

www.jalux.com

